

御津小学校 校訓・校章・校歌

【校 訓】

「なかよく」……人格を尊重し合い、思いやりの心と判断力をもった心豊かな子
【徳育】

「げんきよく」……命を大切に、心身を鍛え、自主的・自律的に行動する子
【体育】

「せいっぱい」……探求心が旺盛で、向上心をもって粘り強く主体的に学ぶ子
【知育】

【校 章】



制定年度 不明

「ツ」を図案化したものを3つ組み合わせることにより、「ミツ」を表している。さらに、小学校の「小」をその中に配した。

【校 歌】

三	二	一	
はるかな空から とおくの星から たてよたてよと われらは向かう ゆくての道は	窓から窓へと 家から家へと つなげつなげと われらたがいに つたわる流れ	海から生まれた 山から生まれた のびよのびよと われらのぐるり きらめく声は	朝の風 昼の風 日に光る とりまいて あたたかい
まねいてる よんでいる こだまする ひとすじに あたたかい	とどく手は とどく手は しめしあう おすびあい あたたかい	川澄 健一 竹中 郁	作曲 作詞

校歌がになう使命は大きい。学校の象徴であり魂であるだけでなく、全校児童に愛唱され心に残るものでなければならない。校歌を歌うたびに愛校心がわき愛郷心を覚える。そんな願いをこめて昭和33年の学校創立80周年記念行事の一つとして作られた。作詞の竹中郁氏は関西では著名な詩人である。この作詞のために御津町に来町され、地形・風俗・習慣などをつぶさに観察して作詞された。作曲の川澄健一氏は大学教授の職のかたわら、各種音楽コンクールの審査員などもつとめられた。歌いやすい校歌をとというのが先生の念願であるが、全くその願いにぴったりの曲となっている。